

# やすど!

2020.11 Vol.92

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

発行：野洲図書館

(野洲市辻町410番地)

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

野洲図書館のホームページから「YAのページ」が見られます。司書のつぶやきなど更新中。あそびにきてね♪

## Yasu-dokusyo-CLUB

野洲図書館のホームページはこちら→→



今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★司書の1日 ★新しく入った本 デス

### 表紙の1冊

家でも学校でもない、ここは君の第三の居場所



### 『サード・プレイス』

ささきあり／作 酒井以／絵 フレーベル館 K913/ササ



中高生が利用できる施設サプリガーデン、ここは中高生が「自由」に過ごしたり、さまざまな「きっかけ」をつかんだり、「やりたいこと」に挑戦できる。毎日のようにスタッフや中高生が企画したイベントが行われていて、たくさんの体験ができる。必ず参加する必要はないし、自分たちでイベントを企画してもいい。友だちと趣味の世界を分けている瑞樹、誰かといっしょに行動するのが苦手なダイ、兄と父がケンカして家の中がギクシャクしているぴよっち、難関私立校にいったけど成績がビリの亮、4人はサプリガーデンで出会った人と交流していく中で少しずつ成長していく。

◆学生時代にこんな場所があったらな～。自分が学生の時も、家と学校以外で落ち着ける場所を探していたのを覚えています。図書館、ファミレス、公園、デパート、市民体育館、市民グラウンドなどなど。落ち着く場所に困ったら、野洲図書館に足を運んでみてください。君の第三の居場所になるかも!?(よ)



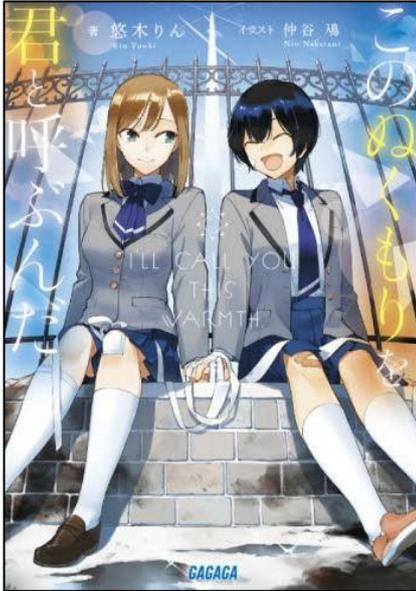
# 司書のオススメ



YA担当司書からのオススメです♪

## 『このぬくもりを君と呼ぶんだ』

悠木りん／著 小学館(ガガガ文庫) B913.6/17



高校1年生のレニー・ウォーカーが暮らすのは、全てが人工的に作られた地下都市。太陽や雨でさえ人工物のフェイクで、本物に触れないまま生まれ育ったレニーはフェイクじゃないリアルを求めていた。レニーが初めて学校をサボった日に黒髪の不良少女トーカに出会い、二人はいっしょに地下都市にあるリアルを探し始める。ある日の夜、真っ赤に燃えるように光る小さなガラス玉のような物体がレニーの元に落ちてきて、「太陽の欠片」と名付けて正体を調べ始めるのだが…。

◆レニーとトーカが仲良くなってから、互いを思うあまりにすれ違いが起こるのですが、恋人か！とツッコみたいくらい大切に思い合っています。すれ違いの背景にはトーカが学校で孤立していることや、レニーが孤立することを心配する友だちの存在があって、なかなか素直に一緒にいることができない二人に「周りなんて気にせず、自分に正直になれ！」と応援したい気持ちになります。(よ)

## 『保健室経由、かねやま本館。』

松素めぐり／著 講談社 K913/マツ



「サーマのお兄ちゃん、ちょっと暗そうだもんね」。え、暗そう？新潟ではお兄ちゃん、サッカー部のまとめ役だったんだよ。それって本当にうちの兄のこと？ 東京に引っ越してきてから、サーマと佐藤まえみと兄の慈恵は、調子が狂いっぱなし。新潟ではクラスの人気者だったサーマまで、仲良しグループの中で浮きはじめて……。私は私のままなのに、なんでこんなことになっちゃったんだろう。お腹が痛くて保健室に行こうと思ったサーマが手招きされたのは、「第二保健室」。異臭ただようその部屋は、中学生専用の湯治場につながっていた。

◆しっかり者は上から目線、明るいのは出しゃばり。周りの環境によって、人によって、自分に貼られるレッテルはあっという間にひっくり返ってしまう。そんなときに、温泉と体に染みるおいしいごはんがあったなら……。しかもこの温泉、「孤独」、「嫉妬」、「受容」など、そのときの自分にぴったりの効能の湯に案内してもらえます。(ち)

2巻もあるよ!



## 『ハジメテヒラク』

こまつあやこ／著 講談社 K913/コマ



とある失敗から、余計なことは口に出さないと決めて生きてきた、あみ。代わりに楽しむのは、「おはようございます。実況はわたし、出席番号33番、綿野あみー」目の前の中継を脳内で行う「実況」だった。それはある人に教えてもらった秘密の方法。高校1年生になったあみは、ひよんなことから「生け花部」に入部する。堅物の部長、ハデ系な先輩、無口な同級生。一見バラバラなメンバーだが――？

◆なるほど、「はじめてひらく」ってそういう意味なのか！名付けたのはあみなんですけど、ずっと脳内実況を続けてきたあみの観察眼は本当にすごい。自分の過去を悔やみながら続けてきた実況なのですが、それが生け花部のみんなの本当の姿をとらえて「バランス」を引き出す鍵となって……続けてよかったね、と言ってあげたい。マイちゃんとおばあちゃんの絆も泣けたけど、あのクールな部長の、文化祭での情熱的パフォーマンス！めちゃくちゃ格好良い。惚れました。(ざ)

## 『ネクラとヒリアが会う時』

村田天／著 KADOKAWA(富士見ファンタジア文庫) B913.6/47

学校一の美男子・佐倉総士と同じく美少女の西園寺ゆりあ。一見恵まれた二人だが、他人から幻想を抱かれるうち、周りとの接し方がわからなくなり、それぞれ孤独を抱えていた。ある時総士が逃げ込んだ図書室には、先にゆりあが隠れていた。顔を隠したまま意気投合した二人は、「ネクラ」と「ヒリア」を名乗り、秘密の交流を始める。

◆読んだら牛井とおにぎり食べたいラブコメ。……ん？👁️絶世の美女と美男コンビでどしてこうなった。ゆりあの秀逸なお笑いセンスと、総士の若干クレイジーな妄想癖(「藁子ちゃん」って何よw)のせいで抱腹絶倒。かと思いきや、人間の見た目と本質について深く考えさせられたり。不器用ながら、すれ違いながら、その問題に向き合おうとするゆりあと総士。ずっと二人を見守っていただきます。(ざ)



## 『部活魂！この文化部がすごい』

読売中高生新聞編集室／著 筑摩書房 K375



「問題。ずばり、一日w……」 ピーン♪「八万六四〇〇秒」。開成中・高のクイズ研究部ともなると、「一日は」まで言わずとも、この問題は一日が何秒であるかを問うていると推察できるらしい。そして一日が何秒か暗記しているらしい。しかも彼らはクイズに答えるだけではない。作るのだ。クイズ問題集に載っているものをそのまま使うのは「ご法度」。1回のクイズ大会で出題する1400問を、辞書・辞典などにとらめっこしながら作りまくる！知らなかったー、こんな世界。

クイズ研の他にも、男だらけの演劇部、高速歩行のマーチングをこなす吹奏楽部、「最高の『雌鹿』に僕は、なる！」鹿踊り部、バレンタインにふきのとうの天ぷらが贈られる雑草研究会など、気になる部活がいっぱい。(ち)

# NEW ARRIVALS

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
ミュージアムを知ろう	横山佐紀／著	ペリかん社
14歳の教室	若松英輔／著	NHK出版
友だちってなんだろう?	齋藤孝／著	誠文堂新光社
10代の「めんどい」が楽になる本	内田和俊／著	KADOKAWA
世界のダンジョン	パイインターナショナル／編著	パイインターナショナル
教育業界で働く	三井綾子／著	ペリかん社
できちゃいました!フツの学校	富士晴茶とゆかいな仲間たち／著	岩波書店
人生で大事なことはみんなゴリラから教わった	山極寿一／著	家の光協会
みんなに話したくなる感染症のはなし	仲野徹／著	河出書房新社
やばいことわざ	齋藤孝／監修	アスコム
わけがわかる中学英語	学研プラス／編	学研プラス
はじめて出会う短歌 100	千葉聡／編	短歌研究社
いつか僕らが消えても、この物語が先輩の本棚にあったなら	永菜葉一／著	KADOKAWA
ハリネズミは月を見上げる	あさのあつこ／著	新潮社
本好きの下剋上 第5部[3]	香月美夜／著	T0 ブックス
魔女の旅々 13	白石定規／著	SBクリエイティブ
この気持ちもいつか忘れる	住野よる／著	新潮社
令夢の世界はスリップする	はやみねかおる／著	講談社
ペランダの秘密基地	木村色吹／著	KADOKAWA
世界とキレル	佐藤まどか／著	あすなろ書房
団地のコトリ	八束澄子／著	ポプラ社
名探偵ポアロ ABC 殺人事件	アガサ・クリスティー／著	早川書房
キャラメル色のわたし	シャロン・M.ドレイパー／作	鈴木出版
ぼくだけのぶちまけ日記	スーザン・ニールセン／作	岩波書店
紙の心	エリーザ・プリチェット・グエッラ／作	岩波書店
とある魔術の禁書目録(インデックス)外典書庫 2	鎌池和馬／著	KADOKAWA
継母の連れ子が元カノだった 5	紙城境介／著	KADOKAWA
魔法科高校の劣等生 32	佐島勤／著	KADOKAWA
ひげを剃る。そして女子高生を拾う。 4	しめさば／著	KADOKAWA
りゅうおうのおしごと! 13	白鳥士郎／著	SBクリエイティブ
Re:ゼロから始める異世界生活 短編集 6	長月達平／著	KADOKAWA
記憶書店うたかた堂の淡々	野村美月／著	講談社
東京サマーセッション	HoneyWorks／原案	KADOKAWA
俺の妹がこんなに可愛いわけがない 15	伏見つかさ／著	KADOKAWA
ストライク・ザ・ブラッド 22	三雲岳斗／著	KADOKAWA
ドラキュラやきん!	和ヶ原聡司／著	KADOKAWA
はたらく魔王さま! 21	和ヶ原聡司／著	KADOKAWA

編集後記：◆やすど史上初めて?の顔出し企画、いかがでしたでしょうか。「ヤダ、私足短く見える www もう1回撮って♡」「元からです。」などの言葉云々を飲み込み、寛大に協力してくれたYA担当の皆さん。ありがとう。(ざ) ◆10月の初旬に母校の大学に行く機会があって、驚きが2つありました。1つは、電車に乗ったら文庫本を読んでいる人が多かったこと。もう一つは建物が増えていて自分が通っていた時よりも近未来的な感じになっていたこと。数年経つとここまで様変わりするのかと浦島太郎の気分でした。(よ) ◆今まさに、金木犀が花盛り。「呼・吸」のうち、吸うほうだけの管になりたい。(ち)